

一般社団法人大和森林管理協会 2023年度 事業計画書

自 2023年04月01日

至 2024年03月31日

1. 事業活動の全体的計画

陽楽の森事業は、森林価値向上の試みとして上牧町、王寺町、近畿大学農学部、セブン-イレブン記念財団、弊社が連携して、地域の里山保全活動を行う。その他焚き火バーやアウトドア等、森林の場所貸しによって収益確保を図る。

温浴運営事業は、天川村温浴施設指定管理事業者として、確実な施設運営を実施する。また、木木の湯と銘打ち内装やコンセプトのリニューアルを行い、新たな自主商品開発や地域品の拡販等で、さらなる収益の増加を目指す。

薪製造販売事業は、インターネット販売やふるさと納税制度を活用し販売拡大を図る。また福祉任意団体の人材活用により生産量の増加を目指す。

森林調査評価事業では、個人向け森林評価調査を拡大する。また、個人顧客の森林に関する要望や相談に対応し、森林売買仲介サービスの着手を目指す。

自治体林政アドバイザー事業は、これまでの実績をもとに新規顧客の獲得を目指す。また、既存自治体に対しては、所有者意向調査、危険木調査、森林ビジョン策定、学校向け木工木育など、地域特性に応じた中長期的な事業提案を進める。

ストーブボイラー事業は、薪ストーブの新規設置およびメンテナンスの受注を拡大する。薪ボイラーのメンテナンスの拡充を目指し導入済み自治体に営業活動を行

う。

寺社境内林事業では、引き続き檀原神宮の境内林整備を実施し、中長期的な森林整備に向けた提言づくりも視野に入れる。

山主有志の会事業では、共同施業部会が、昨年度に引き続き吉野林業中核地域である川上村において作業道開設および搬出間伐に取り組む。輸出部会は、展示会等による吉野材のリブランディングおよび実物件の輸出材の調達サポートを推進する。J-クレジット部会は、森林所有者を取りまとめ、J-クレジット登録認証手続の管理および申請主体となり、クレジットの創出と販売を行う。

その他、森林林業に関する研究やコンサルティング業務も意欲的に実施する。

以上、意欲的な事業展開により、2023年度は150百万円の総売上高を計画している。

2. 各事業について

- 陽楽の森

セブンの森、OECM 自然共生サイト、瀬戸内オリーブ資金、場所貸し

- 温浴運営

天川村 指定管理者 木木の湯としてリニューアル

- 薪製造販売

福祉任意団体による薪生産の拡充、原木確保、ネットショッピング活用

- 森林調査評価

森林価値評価、新技術活用による森林調査、資産運用相談、売買仲介サービス

- 自治体林政アドバイザー

奈良県下 9 市町村（二次請け含む） 新規：2 市町村で目途

- ストーブボイラー

薪ストーブ販売 28 件、薪ストーブメンテ 50 件、薪ボイラーメンテ 28 台

- 寺社境内林

檀原神宮

- 山主有志の会

作業道や間伐の共同施業、吉野材輸出支援、J-クレジット登録認証 700ha

- 寺社境内林

檀原神宮